



美しい 県土づくりNEWS

2012 年

3 月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第 92 号
平成 24 年 3 月 30 日発行
編集 県土整備企画室

目次

- 2 「復興道路を核とした道路施策の取組方針」を策定
- 5 岩手県河川・海岸構造物の復旧等における環境・景観配慮に向けた基本的な考え方(案)を中間とりまとめ
- 8 いわて花巻空港 福岡線が開設、名古屋小牧線も増便
- 9 平成 23 年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」で優秀賞(事務次官賞)を受賞
- 11 「遠野かっぱ工事隊」発足
- 13 一般国道 282 号西根バイパスが部分開通
- 14 都市計画道路荒瀬上田面線「川原橋」が開通
- 16 県立都市公園平成 24 年度オープンのお知らせ
- 17 「八幡平アスピーテライン」、「八幡平樹海ライン」開通予定日のお知らせ

三陸復興

金浜海岸災害復旧工事の「着工式」を開催！！

～ 復興元年！東日本大震災津波からの本格復興に向けて一歩前進 ～

平成 24 年 3 月 8 日、東日本大震災津波で甚大な被害を受けた宮古市の金浜海岸において、災害復旧工事の着工式を開催しました。

着工式には、復興庁の津川政務官をはじめとして多くの御来賓に出席いただき、遠増知事、山本宮古市長ら多くの関係者とともに復旧の健音を聞き、本格復興に向けた決意を新たにしました。



「復興道路を核とした道路施策の取組方針」 を策定しました！

～ 復興道路の整備効果を波及させる道路施策の展開に向けて ～

道路建設課

「復興道路」の整備は、本県の課題であった都市間移動時間の短縮や、災害時の防災力強化などに多大な効果を与える大規模プロジェクトです。

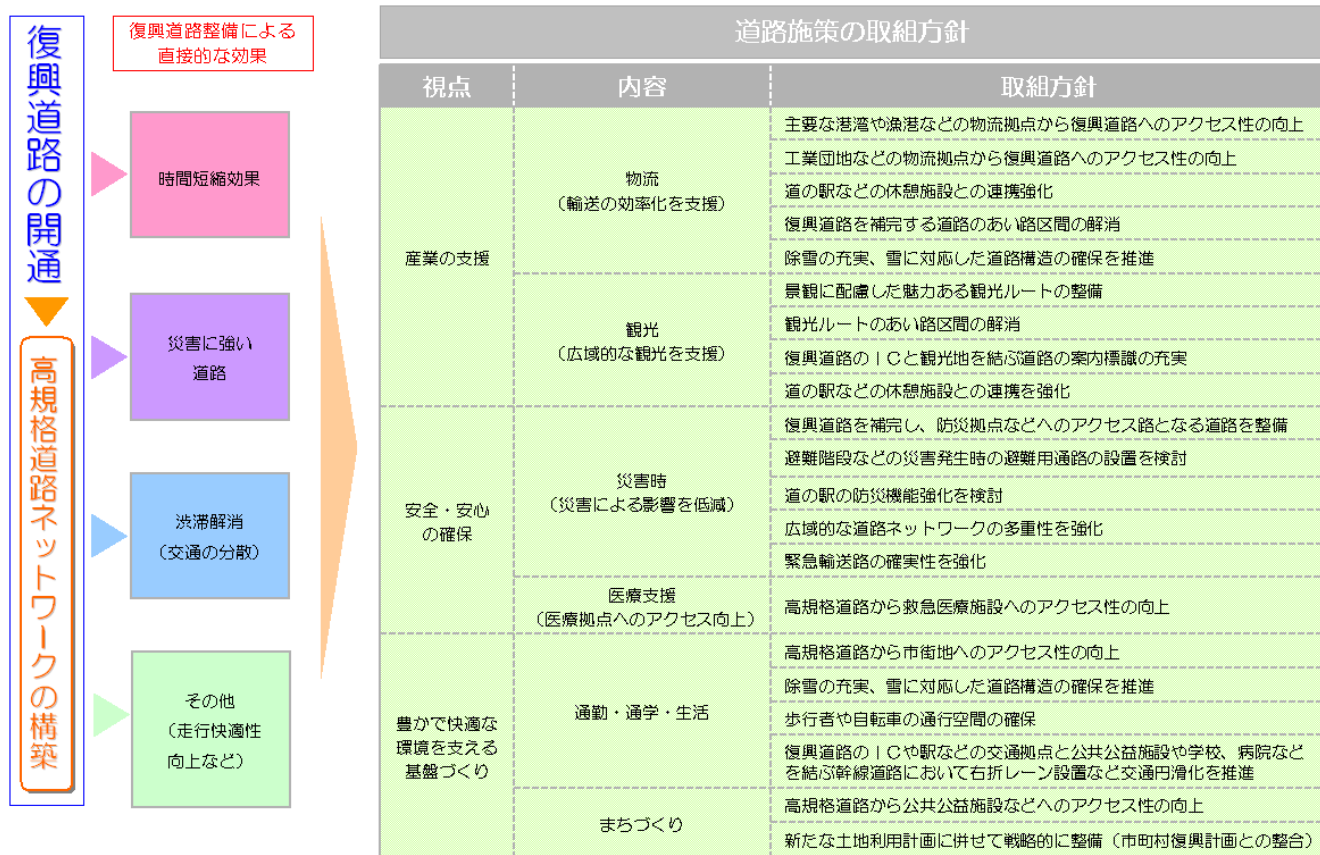
国では、早期全線開通の意向を表明し、平成 23 年 11 月 21 日に成立した平成 23 年度第 3 次補正予算において新規事業化された区間で、早くも平成 24 年度から用地取得に着手する予定であるなど、過去に類を見ないスピードで事業が展開されています。

県としても事業進捗への協力に留まらず、県内全域に「復興道路」の整備効果を波及させ、東日本大震災津波からの復興、そして「希望郷いわて」の実現に繋げていくような取組を進めていく必要があります。

このことから、「復興道路」の多大な整備効果を県内全域に波及させるために配慮すべき道路施策を定めた「復興道路を核とした道路施策の取組方針」を策定しましたのでお知らせします。

取組方針は、今後の道路整備を進めるに当たっての羅針盤として活用していきます。

復興道路を核とした道路施策の取組方針



★「復興道路を核とした道路施策の取組方針」の詳細については、下記の道路建設課HPをご覧ください！

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=806&of=1&ik=3&pnp=66&pnp=780&pnp=806&cd=38067>

【第2回復興道路会議を開催】

東日本大震災津波からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして整備を進めている「復興道路」の早期完成を図るため、国・県・沿線市町村・地域経済界等の関係機関が一丸となって課題解決できる体制整備を目的とした「復興道路会議」を開催しています。

平成24年3月23日（金）に宮古市内において開催した「第2回復興道路会議」では、会議の冒頭、若林県土整備部長より「かつてないスピードで事業が展開されている。『チーム復興道路いわて』として、皆で一丸となって事業を推進していきたい」との挨拶を行った後、国から事業の進捗状況が報告され、続けて県及び沿線市町村の事業促進に向けた取組状況を発表しました。

「復興道路」は、事業区間延長280kmもの壮大な規模の事業であることから、解決すべき課題も山積していますが、早期完成に向け、国、県、沿線市町村等が一体となって課題解決に取り組んでいきます。

【早期完成に向けた主な取組】

＜国の取組＞

- ・ ホームページによる情報発信
 ＜復興道路 HP の開設＞ <http://www.thr.mlit.go.jp/road/fukkou/index.html>
- ・ 発注ロットの大型化
- ・ 事業推進 PPP の導入 ※PPP : Public Private partnership

＜県の取組＞

- ・ 復興道路整備促進対策室の設置
- ・ 用地、保安林、埋蔵文化財関係職員の増員
- ・ 復興道路整備促進連絡調整会議による事業調整
- ・ IC アクセス道路の整備推進

＜市町村の取組＞

- ・ 用地職員の増員（OB の活用）
- ・ 復興道路対策室の設置、組織体制の強化
- ・ 広報等を活用した情報発信



第2回復興道路会議の様子

★「復興道路会議」の詳細については、下記の国土交通省東北地方整備局のHPをご覧ください！

http://www.thr.mlit.go.jp/road/jisinkannrenjouhou_110311/fukkou/index.html

【「復興道路整備促進対策室」を設置】

県では、国が行う「復興道路」の整備を迅速かつ円滑に促進するよう支援するため、県土整備部に「復興道路整備促進対策室」を設置しました。

「復興道路整備促進対策室」の概要

①設置目的

「復興道路」の整備を迅速かつ円滑に促進することを目的とする。

②所掌事項

- ・「復興道路会議」に関すること。
- ・「復興道路整備促進連絡会議」に関すること。
- ・その他、復興道路事業の整備促進に関すること。

③組織

室長	県土整備部長
次長	県土整備企画室長
//	道路都市担当技監
事務局長	道路建設課総括課長

④設置日

平成 24 年 2 月 21 日(火)



看板を掲げる 若林室長(県土整備部長)と
小野寺次長(道路都市担当技監)

今回の「復興道路整備促進対策室」の設置に伴って、事務局である道路建設課に看板を掲げました。

この看板は、道路建設課の職員の手作りで、丸3日かけて製作したものです。

今後とも、職員一丸となって「復興道路」の整備促進、早期開通に向けて、国への支援、調整等を行っていきます！



看板製作状況(道路建設課 渡辺技師)

岩手県河川・海岸構造物の復旧等における 環境・景観配慮に向けた基本的な考え方（案）

の中間とりまとめを行いました！

～ 地域の特性を生かした良好な景観形成等に向けて ～

河川 課

復旧・整備を進める防潮堤等の海岸保全施設の大半は、海沿いの連続的で大規模な構造物であり、復旧等にあたっては、**地域の景観に及ぼす影響や自然環境に配慮することが重要**です。

県では、河川・海岸構造物の復旧等に当たって、**三陸沿岸の特性を踏まえ、環境・景観に係る検討を一体的に行い、計画から施工まで一貫して自然環境との共生及び地域の特性を生かした良好な景観形成の保全・創出に寄与するため**「岩手県河川・海岸構造物の復旧等における環境・景観検討委員会」を平成 23 年 10 月に設置し、4 回の委員会と 1 回の現地調査を経て、この度、「環境」「景観」「利用」の観点から具体的に配慮する事項等を示した「岩手県河川・海岸構造物の復旧等における環境・景観配慮に向けた基本的な考え方（案）」の中間とりまとめを行いました。

今後は、市町村の復興まちづくりの基礎となる防潮堤等の早期復旧・整備に努め、関係者の皆さんと一丸となって多重防災型まちづくりの推進に向けて取り組んでいきます。



【岩手県の河川・海岸構造物の復旧等に係る進め方のイメージ】

①環境景観等に関する基本的事項の策定

岩手県津波防災技術専門委員会（県設置）
→施設の整備目標、防災型のまちづくり等の検討

河川・海岸構造物の復旧における景観検討会（国設置）
→景観等への具体的な配慮方法等の検討

②環境景観に関する実行的事項の策定

岩手県河川・海岸構造物の復旧等における環境・景観検討委員会（県設置）
→地域の特性を踏まえた環境・景観等への具体的な配慮事項、配慮方法等の検討
検討にあたっては「砂浜海岸」「港湾海岸」「複数河川河口部」「観光地周辺」の代表的な4地区を設定

「岩手県河川・海岸構造物の復旧等における環境・景観配慮に向けた基本的な考え方（案）」の中間とりまとめ

③事業実施

被災地における河川・海岸構造物の復旧等の実施

★ 環境・景観配慮に向けた基本的な考え方(案)とモデル地区における検討の概要は次のとおりです。

岩手県河川・海岸構造物の復旧等における環境・景観配慮に向けた基本的な考え方(案) 《概要版》

■ 本案の位置付け

- 本案が対象とする主な施設は、今後、復旧・整備を行う海岸堤防、河川堤防、水門、陸閘、階段等の付帯施設を想定しており、防護機能を損なうことなく環境や景観への配慮を行うことを念頭に「環境」「景観」「利用」に係る配慮事項等について具体的に取りまとめている。
- まちづくり等と連携した覆土や海岸林等との一体的な整備や、モニタリング、ミティゲーションにあたっての留意事項についても取扱い、長期的な観点からの環境・景観配慮が可能となるよう考慮している。
- 復旧等の実施にあたっては、本案を基本としつつ、その地域の自然環境やまちづくりの状況を踏まえて対応する必要がある。

■ 本案の検討項目と基本方針におけるポイント及び検討例

	環境への配慮方針	景観への配慮方針	利用への配慮方針
検討の必要性	・事業実施に伴う自然環境への影響を予測し、その影響をできる限り緩和する対策を講じる必要がある	・大規模で連続的な河川・海岸構造物が三陸沿岸地域の景観に及ぼす影響に配慮する必要がある	・地域の安全安心を確保するとともに、地域の風土、個性、観光業や水産業などの地域のなりわいを生かした環境整備に配慮する必要がある
検討項目	(1)環境配慮に向けた取組(案) (2)岩手県沿岸域における生態系の特質と保全上留意すべき視点 (3)河川・海岸構造物の種類と環境配慮の視点 a)傾斜堤 b)直立堤 c)水門 d)河川堤防 ミティゲーションの各段階(回避・低減・代償)において想定される具体的な配慮事項について整理	(1)堤防の位置・線形 (2)堤防の構造形式 (3)堤防の法面処理等(連続する見えの分節) (4)裏法尻部の処理(高さ感・圧迫感の軽減) (5)樹木等の活用 (6)水門等における景観配慮 (7)陸閘における景観配慮	(1)海の眺望の確保 (2)階段等付帯施設の利用環境向上への配慮 (3)地域コミュニティに配慮した堤防の利活用
基本方針のポイント	・堤防等の配置については、海岸特有のエコトーンへの影響を考慮する ・リアス式地形など、地域特有の環境・生態系を踏まえた環境配慮手法を検討する ・影響低減対策は、地域の自然環境等に精通している有識者等と協議のうえ適切な時期に検討する	・視覚的なインパクトを極力低減するとともに、違和感なく周辺空間に調和させる ・擬似的に自然に見せる表面処理は行わず、シンプルなデザインで構造物の本来機能を伝える	・各地域のまちづくり計画等の将来的な利用ニーズの把握とそれに対応した利用しやすい場を確保する ・地域と一体となったトータルデザインを行う ・海岸利用のための空間づくりにおいては、自然環境の保護・保全や防護面を含めた総合的な検討、調整を行う
検討例	(傾斜堤における回避措置の検討例) 堤防の位置・線形の検討における環境配慮の視点 	(支え壁、縦リブ、築山による分節の検討例) (階段デザインの検討例) 	(地域コミュニティの場の検討例)

岩手県河川・海岸構造物の復旧等における環境・景観配慮に向けた基本的な考え方(案)

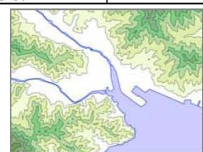
モデル地区における検討《概要版》

■モデル地区等の設定

「砂浜海岸」「港湾海岸」「複数河川河口部」「観光地周辺」の代表的な4地区を設定

- ・海岸の地形や利用、背後地の土地利用、河口部の有無、想定される構造物の種別を考慮
- ・港湾、観光地周辺であることなどの利用の観点を考慮
- ・視点は、人の利用が多く、構造物や地域特有の景観が望める場所を設定

■検討内容の整理

	対象	検討対象施設	検討テーマ	検討視点場
1	砂浜海岸 高田海岸、気仙川 (陸前高田市)	・海岸堤防(傾斜堤) ・水門(大型) ・砂浜、海岸林	・海浜・松原の再生における海岸構造物のあり方 ・松原再生に配慮した堤防線形	①堤防天端 ②第一線堤付近 ③気仙川河口部 右岸 ④橋上
				
2	港湾海岸 大船渡港、盛川 (大船渡市)	・海岸堤防(直立堤) ・河川堤防 ・陸間、階段	・産業的土地利用における海岸構造物のあり方(直立堤のデザイン) ・車両通行に配慮した堤防の線形(動線の設定、海の眺望の確保) ・地域コミュニティに配慮した堤防の利活用 ・陸間、階段のデザイン	【茶屋前地区】 ①住宅地 ②港湾沿い道路 ③橋上 【山口地区】 ④港湾沿い道路
				
3	複数河川河口部 大槌川、小槌川 (大槌町)	・海岸堤防(傾斜堤) ・水門(2箇所)	・複数の水門と堤防とのデザインの調和 ・水門を含む滑らかな堤防線形、形状(山付き線形、直立堤と傾斜堤) ・複数水門のデザイン(大型水門と中小型水門)	①公園(丘陵地) ②住宅地 ③大槌川河口部 左岸 ④住宅地(高台)
				
4	観光地周辺 鉾ヶ崎、閉伊川 (宮古市)	・海岸堤防(直立堤) ・水門(大型) ・陸間、階段	・海への意識や眺望確保に配慮した海岸構造物のあり方 ・海の眺望の確保 ・海への意識を促す堤防デザイン	①②住宅地 ③港湾沿い道路 ④埠頭 ⑤主要道路 ⑥埠頭(水門) ⑦橋上(水門)
				

■モデル地区における検討内容

モデル地区における検討は以下に示すフローに従い実施し、各項目ごとにシートとして整理している。

《被災状況》《地区の概要》では、景観や環境を検討する上で重要な地区全体の特性(地形、景観、環境等)について、被災前後の状況等を踏まえて図面等で視覚的に整理している。

《周辺景観・環境特性》では、検討対象施設を示した上で、その周辺における景観および環境の具体的な状況を整理している。

《検討条件》では、与条件として、現時点における最新のまちづくり計画(土地利用方針)および、構造条件として構造物の位置、設け高さ、基本構造等を整理している。

《景観配慮のポイント》では、上記の内容を踏まえ、景観を検討するための視点を設定するとともに、景観形成上、特に配慮すべき内容を整理している。

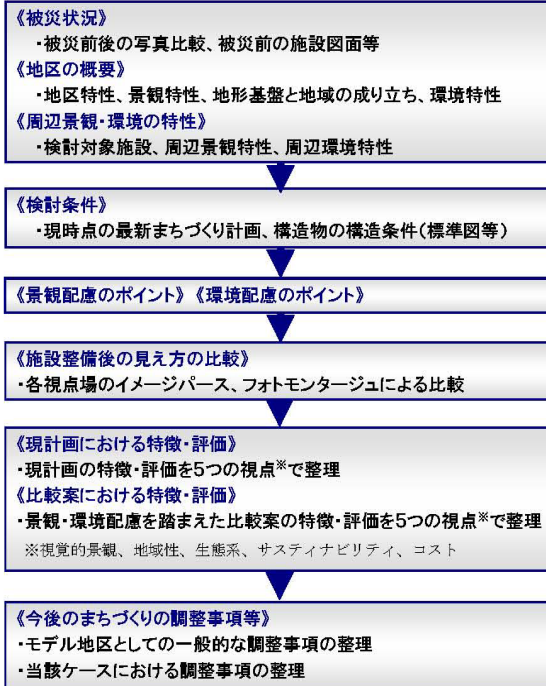
《環境配慮のポイント》では、上記の内容を踏まえ、環境を検討する上で特に配慮すべき内容を整理している。

《施設整備後の見え方の比較》では、検討にあつて各視点場からの見え方を、イメージパースやフォトモンタージュで整理している。

《現計画における特徴・評価》では、現計画におけるイメージパースやフォトモンタージュに配慮事項を吹き出しで示すとともに、それらの特徴・評価を5つの視点から記述している。

《比較案における特徴・評価》では、景観等配慮事項の対策を実施した場合のイメージパースやフォトモンタージュ、また具体的な留意点等の特徴・評価として、5つの視点から記述している。

《今後のまちづくりの調整事項等》では、モデル地区の状況に応じたまちづくりとの一般的な調整事項を示すとともに、当該ケースにおける具体的な調整事項を吹き出しで整理している。



いわて花巻空港

福岡線（直行便）が開設！名古屋小牧線も増便！

～ いわて花巻空港がますます便利に ～

空 港 課

平成 24 年 3 月 25 日の上期ダイヤから、日本航空による福岡線が 4 年半ぶりに開設されるとともに、フジドリームエアライアンズによる名古屋小牧線が 1 日 2 往復に増便されました。

福岡線の初便については、花巻出発便が満席、花巻到着便もほぼ満席となったほか、名古屋小牧線についても、午後の便は発着ともほぼ満席となり、両路線とも上々の滑り出しとなりました。

当日は、いわて花巻空港において関係者 50 人の参列のもと記念セレモニーが開催され、福岡、名古屋両路線の到着便のお客様には地元花巻市の郷土芸能である鹿踊りで歓迎し、県産米（提供：いわて純情米需要拡大推進協議会）等の記念品を配布したほか、出発便のお客様にも、紅白饅頭などの記念品を配布しました。

今回のダイヤ改正を契機として、岩手県と福岡、名古屋の両地域の経済や観光面での交流が促進され、東日本大震災津波からの復興に弾みがつくものとして、大いに期待されています。

記念セレモニーのくす玉開披



福岡線の初便を放水アーチで歓迎！



はなっぴーもお出迎え！お客様に記念品を配布



平成 23 年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」で 優秀賞(事務次官賞)を受賞！！

～ 土砂災害から人命・財産を守るために ～

砂 防 災 害 課

国土交通省では、例年、土砂災害防止月間（6月1日～6月30日）行事の一環として、全国の小・中学生の皆さんから土砂災害やその防止に関する絵画・作文を募集し、優秀な作品を表彰しています。

本県では、今年度、小・中学校合わせて21校から96点の応募があり、応募作品の中から各部門の優秀作品を国土交通省に推薦したところ、3作品が優秀賞（事務次官賞）に選ばれました。

合わせて、岩手県の入賞者についても決定しましたので、お知らせします。

★★★ 国 土 交 通 省 審 査 入 賞 者 ★★★

【絵画（小学生）の部】 ◆全国応募総数 1,761 点◆

優 秀 賞（事務次官賞） 北上市立黒沢尻東小学校 5年 武田 圭祐 さん

【絵画（中学生）の部】 ◆全国応募総数 1,465 点◆

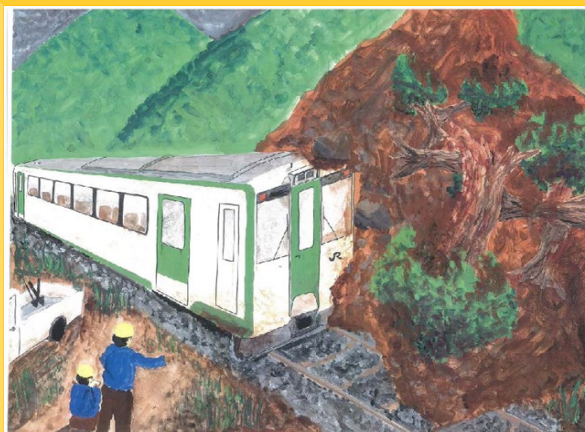
優 秀 賞（事務次官賞） 盛岡市立土淵中学校 3年 村山 福太 さん

【作文（中学生）の部】 ◆全国応募総数 719 点◆

優 秀 賞（事務次官賞） 岩手県立一関第一高等学校附属中学校 2年 佐藤 香伽 さん



優秀賞（事務次官賞）を受賞した
武田さんの作品



優秀賞（事務次官賞）を受賞した
村山さんの作品

優秀賞（事務次官賞）を受賞した佐藤さんの作文は、岩手・宮城内陸地震で本人が体験したこと、自宅裏山の土砂災害から復旧復興へ向けて進んでいく様子、その途中におこった東日本大震災による再びの不安と防災意識の高まりを表現した作品です。

★★★★ 岩 手 県 審 査 入 賞 者 ★★★★★

【絵画（小学生）の部】

最優秀賞 一関市立室根西小学校 6年 芳賀 友香 さん
優 秀 賞 紫波町立日詰小学校 6年 清水頭 里帆 さん
特 別 賞 奥州市立水沢小学校 5年 石川 千乃 さん
特 別 賞 一関市立新沼小学校 6年 菅原 陸 さん

【絵画（中学生）の部】

優 秀 賞 矢巾町立矢巾北中学校 3年 中田 桃 さん
特 別 賞 釜石市立大平中学校 1年 小笠原 颯大 さん

【作文（中学生）の部】

特 別 賞 花巻市立矢沢中学校 2年 浅沼 春香 さん

優秀賞（事務次官賞）を受賞された武田さん、村山さん、佐藤さん及び県最優秀賞を受賞された芳賀さんへ、平成 24 年3月 12 日（月）から 13 日（火）にかけて、それぞれの学校において賞状と副賞を贈呈しました。



優秀賞（事務次官賞）を
受賞した武田さん



優秀賞（事務次官賞）を
受賞した村山さん



優秀賞（事務次官賞）を
受賞した佐藤さん



県最優秀賞を
受賞した芳賀さん

受賞された皆さん、おめでとうございます！！

「遠野かっぱ工事隊」発足！！

一般国道340号土淵バイパスは「遠野かっぱロード」と命名！

県南広域振興局土木部 遠野土木センター

遠野土木センターと（社）岩手県建設業協会遠野支部では、遠野管内の建設業者のイメージアップと地域の活性化を図ることを目的として、平成 24 年3月 12 日に「遠野かっぱ工事隊」を発足させました。

ふるさと「遠野」の元気のために、被災した「沿岸地域」が元気な姿に戻れるよう尽力することを宣言します！



遠野かっぱ工事隊第1号工事 一般国道 340 号土淵バイパス（遠野かっぱロード）にて 平成 24 年 3 月 14 日撮影

目的（ねらい）

- ビジネスパートナーである遠野の建設業者のPR、モチベーションの向上が図られること。
- 遠野の建設業者が携わった建設工事などが話題になることで地域の振興に繋がること。

組織構成

- 企画：遠野土木センター
- 運営：遠野かっぱ工事隊運営会議（県建設業協会遠野支部、遠野土木センター、遠野市）
- 隊員：遠野市内の建設業者

活動内容

- 土淵バイパスを「『遠野かっぱ工事隊』がつくった道路」として、看板の設置、ポスターなどによるPR
- 河童をイメージしたヘルメットなどを着用しての市内イベントなどへの参加
- 完成した工事現場で撮影した集合写真などをホームページ「遠野かっぱ工事隊 facebook」などでPR

遠野かっぱ工事隊 facebook

「遠野かっぱ工事隊」の活動状況などの情報を発信しています！是非、ご覧ください！

<http://www.facebook.com/tono.kappakouji>



遠野かっぱ工事隊発足式

3月12日（月）に遠野市土淵町の土淵地区センターで行われた発足式には、本田敏秋市長や工事関係者、地域住民ら約110人が出席しました。

県建設業協会遠野支部の菊池一副支部長は「東日本大震災では、（同支部から）半年間で延べ3,200台の重機と2,200台のダンプカー、6千人以上が被災地で作業に従事した。地域の安全安心に貢献し、盛り上げていきたい」と決意を述べました。

カッパをデザインしたヘルメットを着用した「遠野かっぱ工事隊」の隊員が、座敷わらしに扮（ふん）した土淵保育園の園児と入場し、照井智隊長が「ふるさと遠野の元気のため、被災した沿岸地域が元気な姿に戻れるように尽力する」と宣言しました。

【一般国道 340 号土淵バイパスは「遠野かっぱロード」と命名】

県では、遠野市土淵町字土淵～土淵町字柝内^{とちない}で整備を進めている一般国道340号土淵バイパス（延長 4.5km）の愛称を「遠野かっぱロード」と決定しました。

このうち、土淵町土淵^{つちぶち}～土淵町柏崎^{かしわざき}間の延長約 2.8km については、7月下旬に一部供用開始を予定しています。

「遠野かっぱロード」が、地域の方々や利用者みなさんに親しみを持って利用してもらうため、土淵町地域づくり連絡協議会を中心とした実行委員会による「（仮称）遠野かっぱロードフェスティバル」などを行う予定としています。

一部供用開始や関連イベントなどの詳細については、決定次第、後日お知らせします。

遠野かっぱロードの概要

全体計画延長：4.5km〔遠野市土淵町字土淵^{つちぶち} ～ 遠野市土淵町字柝内^{とちない}〕

計画幅員：6.5（12.0）m 〔1.50+3.25+3.25+1.50+2.50〕

事業期間：平成 19 年度～平成 26 年度（予定）

総事業費：17.2 億円

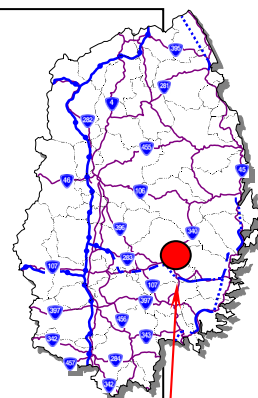
供用開始予定延長：約 2.8km〔土淵町字土淵^{つちぶち}～土淵町柏崎^{かしわざき}〕

命名の目的と経緯：

一般国道 340 号土淵バイパスが、「かっぱ淵」や「伝承園」などの近隣の観光資源とともに、県民や当地を訪れる観光客などにも親しまれるような地域のシンボルとすることを目的に、遠野土木センターが企画。

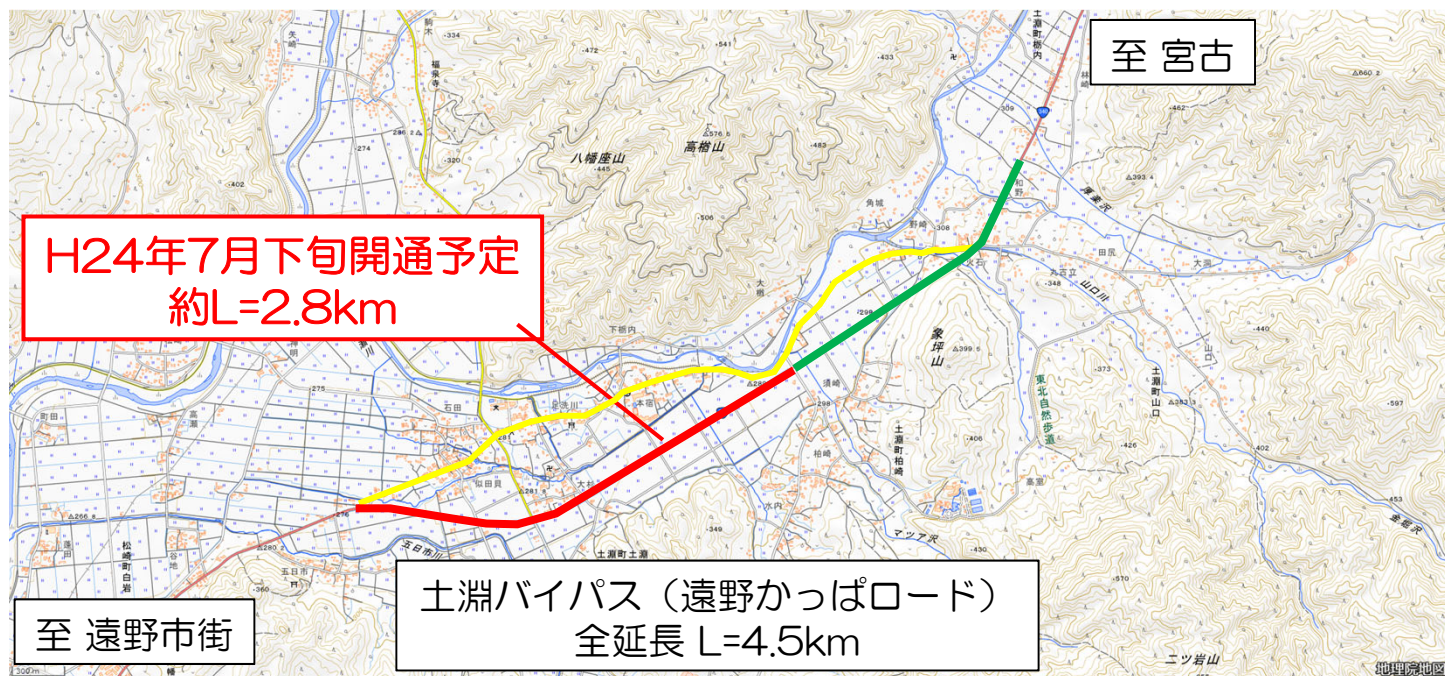
平成 24 年 2 月 12 日に開催した遠野市土淵地区センターが主催する「土淵町地域づくり連絡協議会」（構成員：土淵町区長、土淵小学校・中学校、土淵町青年団体協議会長等）の会議において、出席者約 150 名に土淵バイパスの愛称に関するアンケートを実施した結果、約 8 割の方々から「かっぱロード」という意見をいただきました。

この結果を受け、遠野土木センターが全国的な道路愛称の使用状況等を考慮して、遠野市と協議を行い、愛称を「**遠野かっぱロード**」と決定しました。



差し替えた地図は、別ページを御覧ください

事業箇所



（令和6年作成）当時の地図とは異なります

一般国道 282 号 西根バイパスが部分開通しました！

～ 八幡平市市街地の交通隘路区間の解消に向けて ～

盛岡広域振興局土木部岩手土木センター
道路建設課

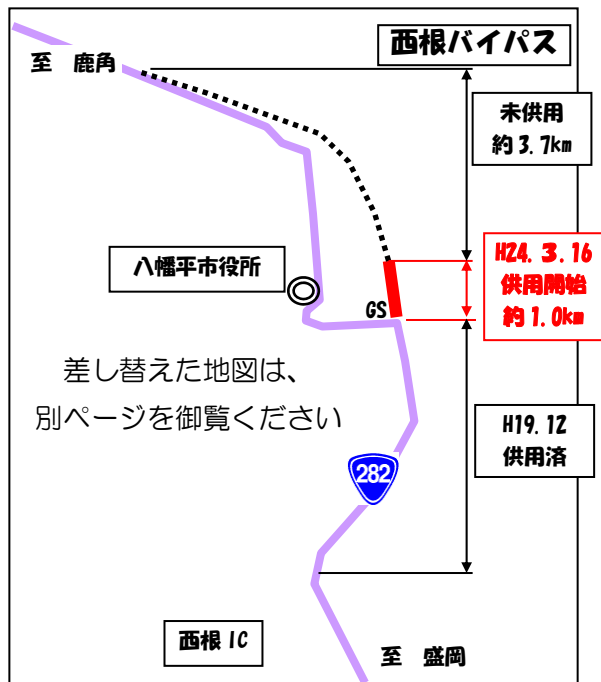
一般国道 282 号は、秋田県鹿角方面と盛岡市を結び、物流、観光、医療面からの重要な幹線道路であるとともに、東北縦貫自動車道弘前線の代替道路としても利用されています。

西根バイパスは、八幡平市市街地の交通隘路の解消を図るため、平成6年度から整備を進めており、平成 19 年度までに南側の 4.2km を部分供用しています。

この度、平成 24 年3月 16 日(金)に、供用済区間から北側の八幡平総合運動公園口までの約 1 k 区間を部分開通しました。従来、総合運動公園を利用する車両は、1 車線の市道を通行していましたが、今回の開通により、大型バスのすれ違い困難の解消や歩行者の安全性の確保が図られます。

今後は、平成 26 年度の全線開通に向けて、用地補償や改良工事を進めていきます。

【西根バイパス 位置図】



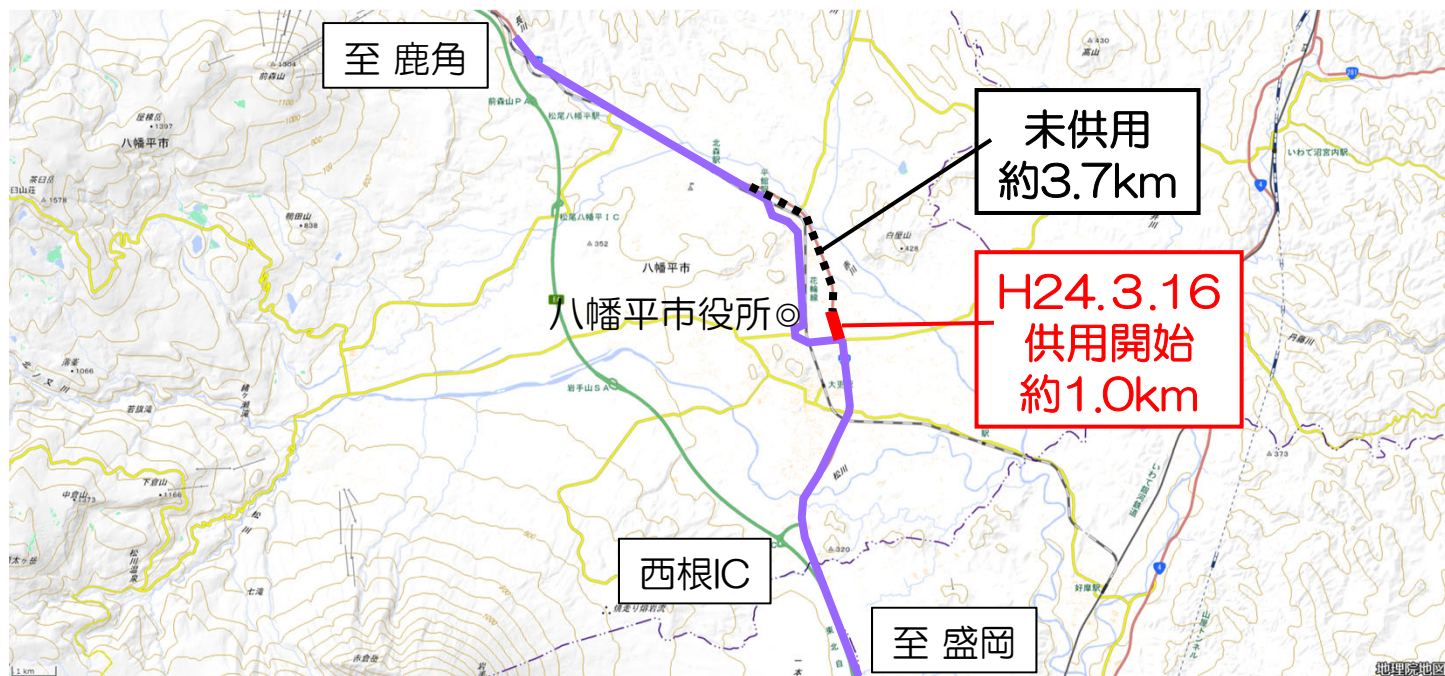
【西根バイパス 事業概要】

- 事業延長
8,900m
- 全体事業費
89 億円
進捗率 82%
(H23 年度末時点：事業費ベース)
- 事業期間
平成6年度～平成 26 年度



鹿角・八幡平方面へ 向かう方へ！！

今回は部分開通のため、鹿角・八幡平方面へ向かう車は、これまで通りガソリンスタンド前交差点信号を左折し、八幡平市役所前を通って行くことになりますので、現地の黄色い案内看板に従って通行して下さい。



(令和6年作成) 当時の地図とは異なります

都市計画道路荒瀬上田面線「川原橋」が開通

県北広域振興局土木部 二戸土木センター

県が平成 12 年度から事業を進めてきた都市計画道路荒瀬上田面線船場地区の「川原橋」が平成 24 年 3 月 10 日開通しましたので、お知らせします。

【開通式】

開通式典は、小雪舞う曇り空の中、午前 11 時から川原橋上で行われ、関係者約 40 人と住民約 300 人が見守る中開催されました。

式典では、関係者によるテープカット、石切所小児童により新旧川原橋への思いが朗読され、同小マーチングバンドの演奏の中、渡り初めパレードを行いました。

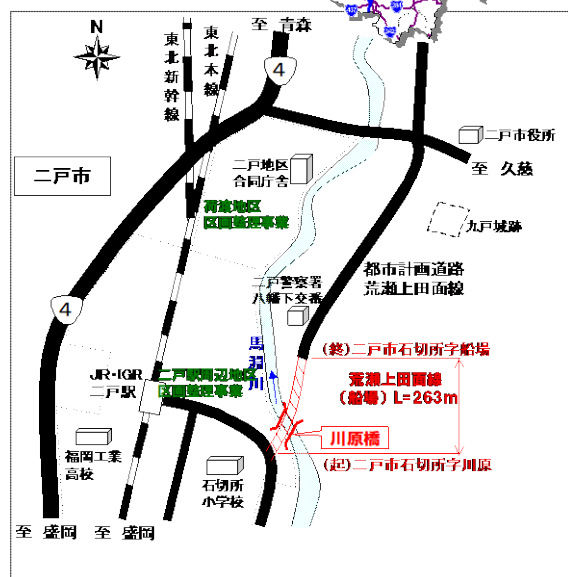
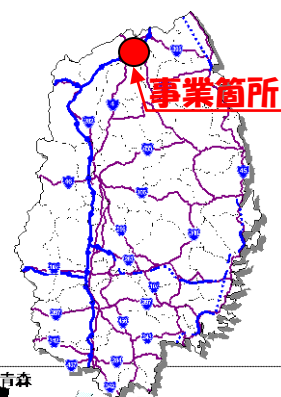


【事業概要】

都市計画道路荒瀬上田面線は、南北に広がる二戸市の中心市街地を縦貫する都市内道路であり、また当該区間は、県北の玄関である二戸駅と中心市街地または県北沿岸の久慈市とを連絡する等重要な役割を担っています。

しかし、現道は、交差点が変則三叉路で見通しが悪く幅員狭小で、かつ歩道幅員も十分に確保されていないため、安全で円滑な通行の支障となっていました。また、昭和 15 年完成の川原橋は、建設後 70 年経過するなど老朽化が著しく早急な架け替えが求められていました。

このため、本事業により、交差点改良及び拡幅、川原橋の架け替えを行うことで、安全で安心な通行空間の確保と都市内道路の機能向上を図るものです。



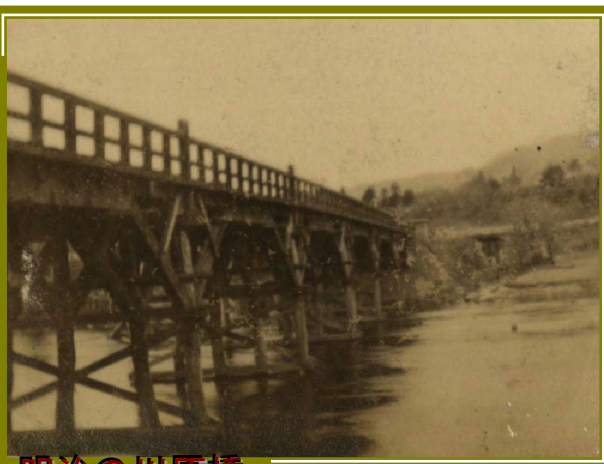
事業延長	263m
幅員	6.0 (16.0) m
事業費	約15億円
事業期間	平成12年度～平成24年度

【川原橋の生い立ち】

川原橋が、現在の位置に架けられたのは国道開通に伴う明治 21 年のこと。舟渡し
が重要で欠かすことのできない交通手段であった当時、架橋は、地域の交流を飛躍的
に向上させました。

明治の川原橋は木橋でしたが、その後、昭和 15 年（1940 年）にコンクリート橋
に改修され、そのコンクリートの橋も今回の架け替え事業に伴い、平成 21 年 2 月の
渡り納めを最後に取り壊され、その役目を終えています。

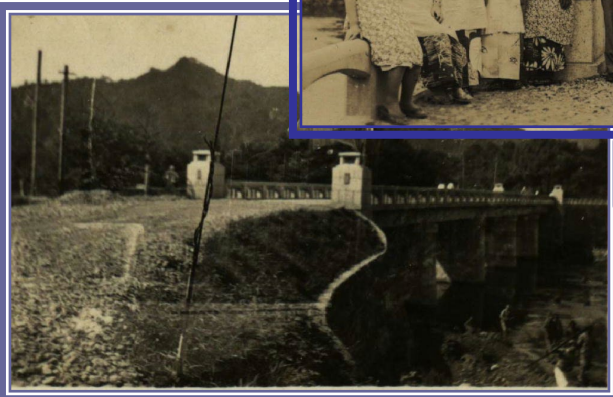
川原橋は、明治 21 年の架橋から、同一位置で 2 回目の架け替えとなりますが、よ
り安全で安心な橋に生まれ変わり、これからも地域の往来や物流を支え続けます。



明治の川原橋
(明治 21 年完成)



昭和の川原橋
(昭和 15 年完成)



[平成 22 年 2 月 5 日“渡り納め”の様子]



地域の声で開催となった“渡り納め”には、
住民約 40 人の参加となるなど地域住民の川原
橋への思いの強さが伺えます。

県立都市公園 平成24年度オープンのお知らせ

都市計画課

御所湖広域公園

御所湖広域公園 平成24年4月1日(日)

乗り物広場 平成24年4月14日(土)

御所湖広域公園では、下記の日程で

“無料開放 Day”を実施します。

是非御利用ください

※ファミリーランドの有料施設(パターゴルフ他)、
野球場、テニスコートが**無料**となります

★ 無料開放 day ★

5月 4日(金・祝) みどりの日

7月 29日(日) 御所湖まつり

10月8日(月・祝) 体育の日

〈問合せ先〉

御所湖広域公園管理事務所

TEL 019-692-4855

☆楽しみ方♪見どころ♪

- 湖面に映る若手山や七ツ森!
- 四季折々の楽しみが待っています!
- 春にはサクラやカキツバタ、夏にはホタルやトンボ
- 5~11月の第2土曜日は観察会を開催します!

☆ファミリーランド

- ・お花見の隠れスポット
- ・桜・ポピー・ヒマワリなど
季節の花がいっぱい!
- ・ジャフジャフ池で水遊び!
- ・パターゴルフもリニューアル
しました!



☆乗り物広場♪

- ・ サイクル列車
みんなで力をあわせ
シュッシュッポッポ!
- ・ スワンサイクル
親子で空中散歩!
- ・ 変り種自転車
バッテリーカーもあり
ます!

花巻広域公園

花巻広域公園 平成24年4月1日(日)

県民ゴルフ場 平成24年4月1日(日)予定

花巻広域公園では、下記の日程で

“無料開放 Day”を実施しますので

是非御利用ください

〔 ※テニスコートが**無料**となります 〕

★ 無料開放 day ★

5月 4日(金・祝) みどりの日

7月 22日(日) 夏まつり

10月7日(日) 秋まつり

〈問合せ先〉

花巻広域公園管理事務所 TEL 0198-27-3586

県民ゴルフ場 TEL 0198-27-3280

県民ゴルフ場 特別料金のご紹介!

4月謝恩特別料金 5月からの料金

平日 3,000円

平日 4,000円

土日祝 4,000円

土日祝 5,000円

☆薄暮プレー(5月~10月)

受付時間(13時~) 受付時間(15時~)

平日 2,500円

平日 2,000円

土日祝 3,500円

土日祝 3,000円

☆早朝プレー(5/19~8/26、土日祝のみ)

受付時間(5時~7時30分)

土日祝 3,500円

★上記料金には、手動カート・利用税・保険料が含まれています。

★電動カート使用料は別途料金となります。

★薄暮プレーの受付時間は、混み具合により変更する場合があります。

☆小・中・高校生グリーンフィ無料

「八幡平アスピーテライン」、「八幡平樹海ライン」開通予定日のお知らせ

～ 4月20日に「八幡平アスピーテライン」、4月27日に「八幡平樹海ライン」が開通 ～

盛岡広域振興局土木部 岩手土木センター

岩手県の春の観光名所、壮大な雪の回廊が楽しめる「八幡平アスピーテライン」は、約半年間の冬期通行止を経て、3月下旬より除雪作業を開始し、4月20日(金)10:00に開通する予定です。

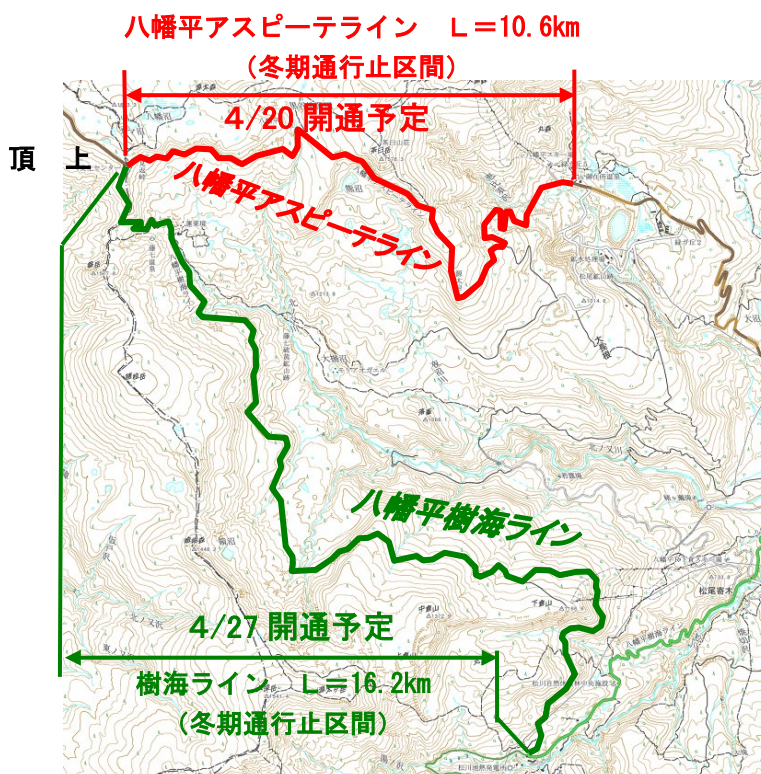
ふもとの桜と雪の回廊を一緒に楽しめる貴重な時期です。十和田八幡平国立公園の大自然をお楽しみください。

また、八幡平地域では、盛岡広域振興局主催の「桜と雪の回廊観光キャンペーン」や、JRグループの「いわてデスティネーションキャンペーン」と合わせた地元開催のイベントなどを企画し、皆様をお待ちしております。車でお越しの際は、冬タイヤを装着の上、岩手土木センター手作りの『いわて八幡平ドライブマップ』を移動の参考にいただければ幸いです。

ドライブマップ ⇒ http://www.hachimantai.or.jp/event/2011/iwatehachimantai_drivemap.pdf

なお、「八幡平樹海ライン」はゴールデンウィーク前の4月27日に開通する予定です。

※ 現地の気象条件等により、開通日が遅れる場合があります。



開通式の状況(H22)



除雪作業の状況(H22)

